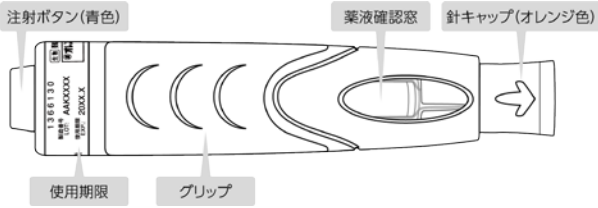


オレンシア®皮下注125mgオートインジェクター1mLの取り扱い方法

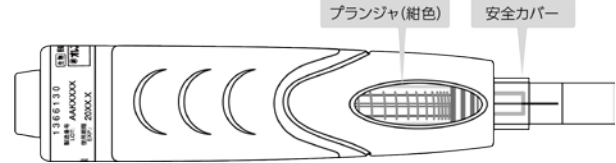
1. オートインジェクターの各部名称と機能

オレンシア®皮下注125mgオートインジェクター1mLは注射ボタンを押すことで針が自動的に作動し、注射することができます。注射が終了し、一旦オートインジェクター(本体)を皮膚から離すと、針は自動的に安全カバーに格納されます。

注射前



注射後



2. 注射のしかた

①

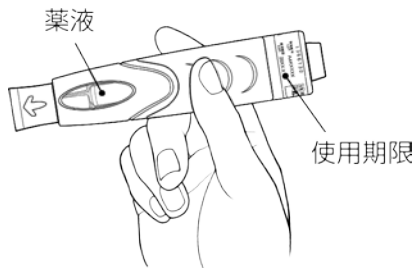


① 本体の準備をします

オートインジェクターを冷蔵庫から出し、約30分かけて室温に戻してください。

- ・室温に戻るまでは、針キャップは取り外さないでください。
- ・注射の前に、手を石鹸でよく洗ってください。

②

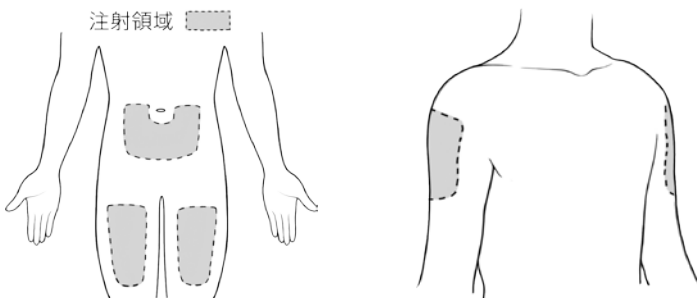


② 本体及び薬液を確認します

本体が壊れていないか、また、使用期限が過ぎていないかを確認してください。薬液確認窓から、薬液が無色～微黄色の溶液であることを確認してください。

- ・注射の直前まで針キャップを外さないでください。一度キャップを外すと、再度キャップをすることはできません。
- ・次の場合は使用せず、新しいものを使用してください。
 - オートインジェクターの使用期限が過ぎている場合
 - オートインジェクターが破損している場合
 - 薬液が本来の色(無色～微黄色またはわずかに乳白色色)と違う場合
 - 薬液に異物が混ざっている場合
- ・薬液中に気泡が見られますが、問題はありません

③



③ 注射の準備をします

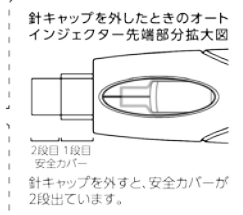
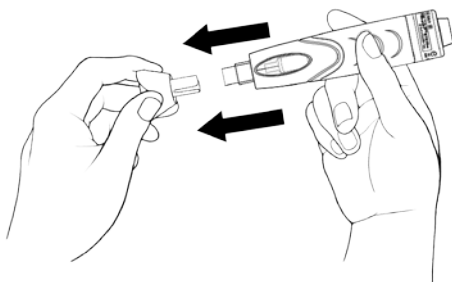
1) 注射する場所を選びます

注射する場所は腹部、大腿前面あるいは上腕外側部(介護者が注射をする場合のみ)です。へその周り5cm程度は避けて注射してください。

- ・注射する場所は毎回変更してください(前回注射した場所から3cm以上離れた場所に注射してください)。
- ・皮膚の敏感な場所、皮膚が赤くなっている場所、傷のある場所や硬くなっている場所には注射しないでください。
- ・皮下脂肪が少ない(やせた)方の場合、腹部や大腿部などの皮膚がつまみやすい場所に注射してください。その際、**つまんだ指に針が刺さらないよう注意**してください。
- ・注射部位をアルコール綿でやさしく消毒し、乾かしてください。

患者自身及び介護者による注射の場合

介護者による注射の場合

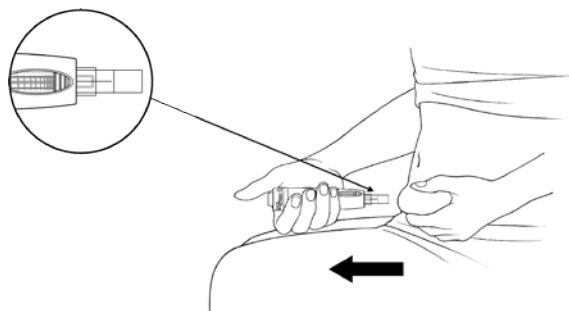
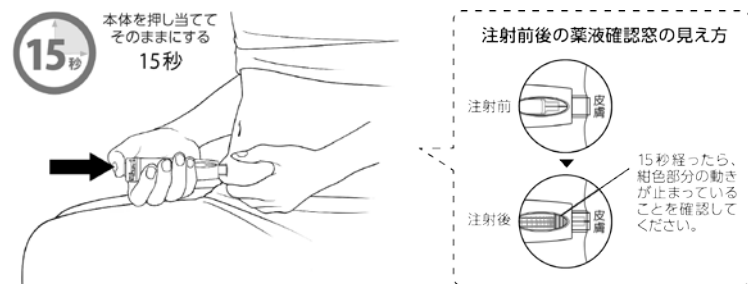
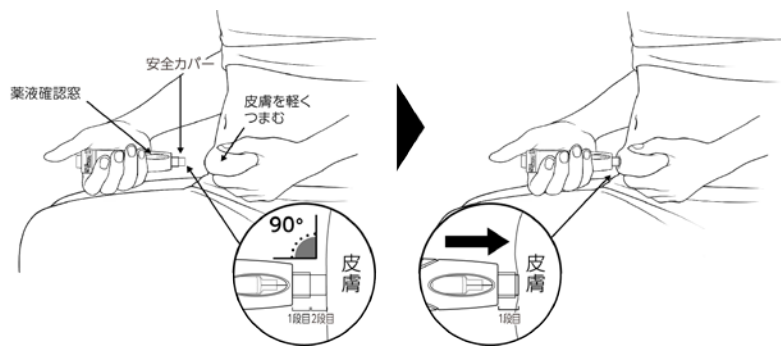


2) オレンジ色の針キャップを外します

片手で本体中央部を持ち、もう一方の手で針キャップを**まっすぐ引き**、取り外してください。一度キャップを外すと、再度キャップをすることはできません。

- ・針キャップを外す際、針に触れないようご注意ください。
- ・針キャップを外した後は、速やかに注射してください。
- ・針キャップを外した際、針の先に薬液のしずくが見られることがありますが、問題ありません。

④



④ 薬液を皮下注射します

(完全に薬液を注入するために、すべての手順に従ってください)

1) 本体を持ちます

オートインジェクターを薬液確認窓が見えるように持ちます。あらかじめ消毒された部位を軽くつまんでください。オートインジェクターの安全カバーを注射部位に対して直角に押し当てます。

2) 注射ボタンのロックを解除します

2段目の安全カバーが、1段目に格納されるまで、しっかりとオートインジェクター全体を押し当てると、**青い注射ボタンのロックが解除**されます。

- ・薬液が入りきるまで、皮膚をつまんだままにしておいてください。
- ・ロックを解除しない限り青い注射ボタンは押せませんので、無理に押さないでください。

3) 注射を開始し、本体を注射部位に15秒間当てたままにします

オートインジェクターのロック解除後、青い注射ボタンをカチッと音がするまで押します。自動的に注射が始まり、薬液確認窓内の紺色部分が動き出します。薬液がすべて入りきるまで、**15秒間**はオートインジェクターを注射部位に当てたままにしてください。

- ・青い注射ボタンが押せないときは、再度オートインジェクター全体をしっかりと押し当て、2段目の安全カバーが1段目に格納されていることを確認し、注射ボタンを押してください。
- ・注射中に注射ボタンを押し続ける必要はありません。

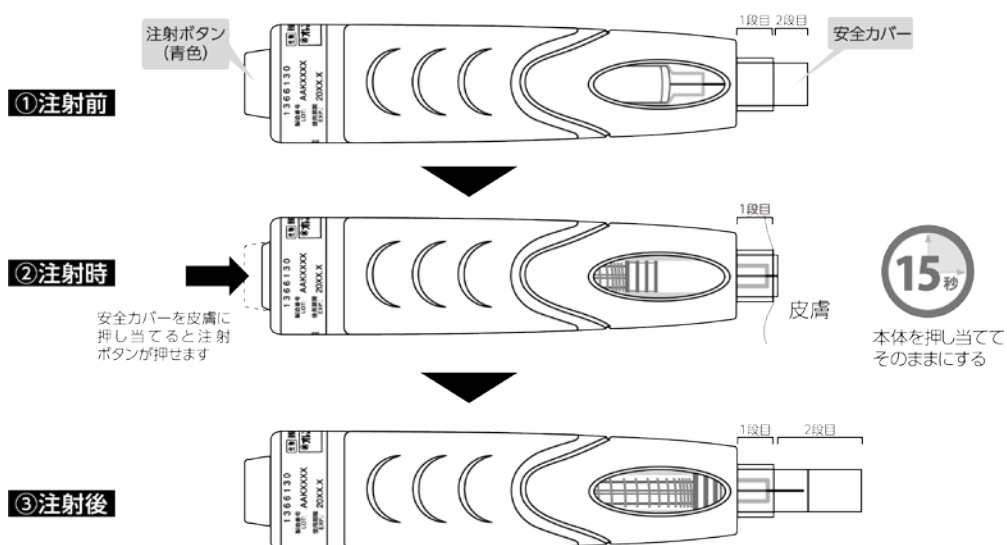
4) 本体を注射部位から離します

15秒経ち、紺色部分の動きが止まっていることを確認した後、注射部位からオートインジェクターをまっすぐに離すと、安全カバーが伸び、針は自動的に格納されます。

オートインジェクターを離した後、アルコール綿で10秒程度軽く押さえてください。血が止まりにくい場合は長めに押さえてください。使い終わったオートインジェクターは、廃棄ケースに入れて廃棄してください。

- ・注射した場所をもむと腫れることがありますので、もまないでください。
- ・使用済みのオートインジェクターに再度針キャップを付けることはできません。

【注意事項】注射の手順とオートインジェクター本体の動き



使用後のオートインジェクターは分解せずに、医療廃棄物として適切に廃棄してください。